

# 労働金庫連合会〈労金連〉は、 労働金庫〈ろうきん〉の 中央金融機関です。

労金連は、協同組織の福祉金融機関である〈ろうきん〉を会員とする中央金融機関として1955年に設立されました。以来一貫して、〈ろうきん〉が行う金融活動を支え、〈ろうきん〉業態の健全な発展に寄与するための事業を行ってまいりました。

労金連は、今後も、「ろうきんの理念」のもと、〈ろうきん〉のセントラルバンクとしての機能を発揮するとともに、〈ろうきん〉業態の信用力の維持・向上に努めてまいります。



## シンボルマーク

〈ろうきん〉のシンボルマークは、ROKINの頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、親しみやすさを表すとともに、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、はばたく鳥は、より発展する〈ろうきん〉の飛翔を表現しています。シンボルマーク・カラーはブルーです。〈ろうきん〉ブルーは「知性」「未来」「希望」を表現しています。シンボルマークには、〈ろうきん〉の基本理念が表現されています。



ごあいさつ	02
ろうきんの理念	04
<b>1. 福祉金融機関&lt;ろうきん&gt;</b>	
〈ろうきん〉の基本姿勢	06
〈ろうきん〉の社会的役割	07
労金連の役割	08
ろうきん相互支援制度	10
ろうきんSDGs行動指針に基づく〈ろうきん〉の取組み	12
〈ろうきん〉の経営	13
〈ろうきん〉の不良債権の状況	14
〈ろうきん〉の自己資本比率	14
沿革・あゆみ	15
<b>2. 2022年度の事業の概況</b>	
2022年度の事業の概況	18
トピックス	21
<b>3. ろうきんSDGs行動指針に基づく労金連の取組み</b>	
ろうきんSDGs行動指針に基づく労金連の取組み	26
ろうきん森の学校	28
<b>4. 経営管理体制</b>	
第10期中期経営計画	32
2023年度事業計画	33
経営方針	34
業務の適正を確保するための体制	35
お客さま本位の業務運営に関する方針	38
労金連のESG投融资原則	41
顧客保護等管理方針	42
苦情等への対応(金融ADR制度への対応について)	42
個人情報保護の取組み	43
利益相反管理方針の概要	45
金融円滑化の取組み	46
反社会的勢力に対する基本方針	47
金融商品に関する勧誘方針	47
確定拠出年金運営管理業務に関する勧誘方針	47
証券業務に関する倫理コード	48
労働金庫電子決済等代行業者との連携及び協働に係る方針	49
経営体制	51
リスク管理の体制	52
業務継続態勢	55
コンプライアンスの体制	56
内部監査の体制	60
<b>5. 業務のご案内</b>	
主要な業務の内容	62
総合事務センター	68
<b>6. 労金連の概要</b>	
業務組織図	70
役員	71
職員の状況	72
会員の内訳	72
出資会員	72
<b>7. 財務資料編</b>	
単体財務諸表	74
諸比率	84
自己資本の充実の状況(単体・連結)	86
不良債権の状況(単体)	101
資産査定に係る各種基準の比較表	102
報酬等に関する事項(単体)	104
預金に関する指標	105
貸出金等に関する指標	106
有価証券に関する指標	107
有価証券等の時価情報	108
デリバティブ取引情報	110
連結情報	111
連結財務諸表	113
不良債権の状況(連結)	122
報酬等に関する事項(連結)	122
連結セグメント情報	122
会計監査人の名称	122
事務所の所在地	124
全国〈ろうきん〉のお問い合わせ先一覧	125
索引	126

# 《プロフィール》

## 労金連の概要 (2023年3月31日現在)

●店舗数	1店舗
●常勤従業員数	432人
●会員数	13労働金庫
●預金残高(譲渡性預金含む)	7兆2,395億円
●貸出金残高	1兆6,769億円
●出資金	1,200億円
●自己資本比率(国内基準)	15.04%

## 全国労働金庫の概要 (2023年3月31日現在)

●金庫数	13金庫
●店舗数	605店舗
●常勤従業員数	11,211人
●会員数	104,447会員
●間接構成員数	11,820,909人
●預金残高(譲渡性預金含む)	22兆9,597億円
●貸出金残高	15兆2,905億円
●出資金	969億円
●自己資本比率(国内基準)	(全国平均) 9.51%

\* 全国労働金庫の数値は速報値

※本誌は労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第21条の規定に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。





平素より、私ども労働金庫連合会(労金連)に対しまして、格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この3年あまり私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしていた新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5月に変更となり、社会経済活動は徐々に活発さを取り戻しつつありますが、ロシア・ウクライナ情勢が長期化する中、物価上昇傾向も続くなど世界規模で不確実性の高い状態が続き、勤労者を取り巻く生活環境は引き続き厳しい状況となっております。

ろうきんは、新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少等となった勤労者の生活を支援する特別融資をはじめ、勤労者の生活を守り、支援する取組みを行ってまいりましたが、今後も「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」として、「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」という理念のもと、働く人に寄り添い、その日々の暮らしを支援してまいります。

このディスクロージャー誌「労働金庫連合会2023」は、労金連の機能や役割、業績、ろうきん業態等について紹介しています。本誌によって労金連ならびにろうきんに対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

労金連は、全国13のろうきんを会員とする中央金融機関として、ろうきんらしい商品やサービスの開発・提供、ろうきん間の資金需給調整、ろうきんの余裕資金の効率的な運用、業態統一オンラインシステム「オール・ワンシステム」の開発・運営など、ろうきんが行う金融活動を支える役割を担っています。

労金連の2022年度の業績は、総資産9兆4,864億円、預金残高7兆2,395億円、当期純利益84億円、自己資本比率15.04%となりました。世界的なインフレ傾向を背景とした米欧等の金融引締め、円安進行や国内長期金利の上昇等金融市場が変化する中、リスクと収益のバランスに配慮し、金利上昇リスクに備えたポートフォリオの改善を図る取組み等を行い、当期純利益は計画を上回る水準を確保することができました。

ろうきんは、2019年3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定し、業態あげてSDGs達成をめざした取組みを行っています。働く人たちの大切な資金を「意思のあるお金」として、社会

や環境等に配慮したESG投資や社会課題に取り組む非営利・協同セクターへの支援・融資などにつなげることにより、持続可能で包摂的な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていくこと等をめざしています。

労金連では、国連が提唱する責任投資原則(PRI)に署名し、ESG投資を積極的に行っており、2022年度末のESG投資残高は1,880億円となりました。引き続き、持続可能な社会をめざす金融の担い手として、ESG課題を考慮した取組みを実践してまいります。

人生100年時代の到来等を踏まえ、ろうきんは2020年度より「勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言」を掲げています。2024年からはNISA制度の抜本的拡充・恒久化が予定されていることから、資産形成への関心が一層高まることが予想されます。

ろうきんでは、「新しいNISA」に関する情報や商品・サービスの提供をはじめ、iDeCoや財形貯蓄といった各種制度の有効活用等のご提案を通じて、勤労者の生涯にわたるライフプランや資産形成をサポートする取組みを一層強化しています。

「ろうきんiDeCo（個人型年金プラン）」は、加入件数が2023年3月末で27万件を超え、金融機関の中でもトップクラスの実績をあげています。

ろうきんでお求めいただける投資信託は、わかりやすくして信託報酬の低い商品やESG課題を考慮した商品などを揃えております。商品のラインアップや販売実績等は「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況として、労金連のウェブサイトにて公表しています。今後も、勤労者の多様なニーズに適した資産形成の取組みを推進してまいります。

ろうきんは、デジタル化の急速な進展への対応を重点課題として取り組んでいます。スマートフォンアプリ「ろうきんアプリ」の口座登録件数は、2023年3月末までに127万件となりました。また、2022年7月から一部金庫を除き、アプリから普通預金口座の開設をお申込みいただける「ろうきんアプリ口座開設」のサービス提供を開始しました。

今後も、本アプリの機能追加のほか、金融デジタイゼーションに対応した非対面取引のチャンネル拡大とシステムの安定稼働・活用を通じて、お客さまのニーズに合わせた利便性の向上と質の高い金融サービスの拡充につとめてまいります。

豊かな森の再生と環境問題に取り組む人材育成をめざして、2005年に開校した「ろうきん森の学校」は、生物多様性の保全等につながる取組みとして、全国5地区のNPOと協働し、「森づくり」から「人づくり」、「地域づくり」につながる環境教育事業として取り組んでいます。

2023年度は、ろうきんがめざす姿を描いた「ろうきんビジョン」の実現に向けた第10期中期経営計画(2021年度～2023年度)の最終年度となります。最近の国際情勢等から世界的に社会経済の不確実性が増し、またテクノロジーの進展等により社会経済環境が速いスピードで変化していく中、お客さまの変化するニーズに適切に対応していくには、私たちも変わっていく必要があります。

不安定な社会経済環境の中では、働くことや暮らしの安心を支えるセーフティネットを社会全体で構築することがますます求められており、ろうきんは、ろうきんならではの共助のネットワークと金融機能を活かしながら、確かな役割を果たしてまいります。

労金連は、系統中央金融機関として、ろうきんの社会的使命、役割の発揮を力強く支え、「働く人の明日への貢献」につとめてまいります。

今後とも、皆さまの一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

理事長 西田安範

## ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する  
協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および  
文化にかかわる活動を促進し、  
人々が喜びをもって共生できる  
社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による  
団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、  
運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、  
健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

